

授 業 科目名	【 G 】	フレッシュマン・セミナーⅡ	区 分		開講年次	【 G 】 1	単位数	【 G 】 2
	【 H 】	フレッシュマン・セミナーⅡ	必 履 修			【 H 】 1		【 H 】 2
科目区分	基本科目							
授業形態	対面授業							
担当形態	単 独							
施行規則に定める科目区分又は事項等								
サブ タイトル	歴史的な見方・考え方に触れる、実践する ～スポーツ及びオリンピック・ムーブメントの教育・社会的な意義、価値、課題に着目して～					担当者	青柳 秀幸	
授業概要	【概要】	学生生活を一層豊かにすることを目指して、「読む」「聴く」「考える」「書く」「伝える」「学び合う」ことなどの面白さや醍醐味について、個性を尊重しながら試行錯誤し、学びましょう。 本演習(ゼミナール)では歴史的な見方や考え方を大切にします。人や物事の歴史を知ったり、歴史的な観点を学ぶ・活用することの良い点の1つとして、自身の考えや、今見ている視点・情景が豊かになったり深まることが挙げられます。具体的にどうということか、本当なのか、ゼミメンバーと確かめてみましょう。 主な教材・話題として、スポーツ及びオリンピック・ムーブメントの教育・社会的な意義、価値、課題を取り上げます(批判的な見解を含む)。スポーツの好き・嫌い、得意・不得意は問わず、大学生活を豊かにしたい学生さん、何か前向きに変化・挑戦しようとする学生さんを歓迎します。						
	【到達目標】	・「読む」「聴く」「考える」「書く」「伝える」「学び合う」ことのいずれかの面白さや醍醐味を、自身の経験に基づいて理解している ・歴史的な見方や考え方を活用することの意義を自身の経験に基づいて理解し、自身の言葉で表現することができる ・思考、行動した内容を整理し、自らの言葉で説明・文章表現しようと努力することができる						
履修条件	他者の学びの時間・環境を尊重すること。							
アクティブ ラーニングの 方法	【○】	事前学習型	【○】	反転授業	【○】	調査学習	【○】	フィールドワーク
	【－】	双方向アンケート	【○】	グループワーク	【○】	対話・議論型授業	【－】	ロールプレイ
	【○】	プレゼンテーション	【－】	模擬授業	【○】	PBL	【－】	その他
ディプロマ・ ポリシーとの 関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①		－ (当てはまらない)					
	DP(ディプロマ・ポリシー)②		◎ (よく当てはまる)					
	DP(ディプロマ・ポリシー)③		◎ (よく当てはまる)					
	DP(ディプロマ・ポリシー)④		－ (当てはまらない)					
他科目との 関連性	・大学における学び(特に2年次以降の演習科目における学び)の基礎を身につける科目である ・他科目の学びや興味・関心、疑問などを話題に挙げても良い(学びをメンバーと共有し、深めるようにする) ・「現代社会とスポーツ」「スポーツ社会学」で扱うテーマが一部含まれる							
教科書	Richard Bach著, 五木寛之翻訳(2015)かもめのジョナサン 完成版. 新潮社. ※授業の序盤で用いる							
参考書	必要に応じて授業内で紹介する。							
評価方法	発言・発表・ワークシート(50%)、授業への参加態度(50%)をもとに総合的に判断する。なお、演習における貢献はいずれかの項目への加点要素となる。							
フィードバック 方法	・発言、発表、コメント内容をもとにメンバー(学生・教員)間で建設的にディスカッションする ・発言、発表、コメント等に対して教員が講評(対面および文書)する							
評価基準	授業の内容について適切に理解し、発言や発表、課題に積極的に取り組んだ者には「S」または「A」、不十分な点がある者にはその程度に応じて「B」または「C」とし、理解・発言、発表・課題がいずれも著しく不十分な者にはその程度に応じて「D」または「E」、評価不能は「F」とする。							

授 業	【 G 】	フレッシュマン・セミナーⅡ	区 分	開講年次	【 G 】 1	単位数	【 G 】 2
科目名	【 H 】	フレッシュマン・セミナーⅡ	必 履 修		【 H 】 1		【 H 】 2
授業内容	〈第1回～2回〉オリエンテーション、パワーポイント資料作成・発表の基礎習得、自己紹介プレゼンテーション、ディスカッション 〈第3回～5回〉図書の輪読、ワード資料作成・発表の基礎習得、ディスカッション、専門知識の習得 〈第6回～8回〉スポーツ及びオリンピック・ムーブメントに関する専門書の輪読、ワード資料作成・発表の基礎習得、ディスカッション、専門知識の習得 〈第9回～10回〉学術論文の輪読、グループワーク、ディスカッション 〈第11回〉フィールドワーク 〈第12回～14回〉各々の学び、興味・関心、疑問などに関するプレゼンテーション、ディスカッション 〈第15回〉 総括、次年度の展望と課題の設定						
予習内容	・事前に提示された内容について短時間で作業せず、時間をかけて作業、反芻すること ・授業ごとの予習時間は120分程度を目安としてください						
復習内容	・他の受講生や教員の見解と自分の見解とを比較すること ・話題に挙げた論点、課題を整理し、解決に努めること、良かった点や個性を更に伸ばすこと ・授業ごとの復習時間は120分程度を目安としてください						
その他	受講者の興味・関心に合わせて授業内容を一部変更する場合があります ※G・Hカリ:【必履修(○お)】						